

令和5年7月17日

いわきの夏は新型コロナ感染が広がりやすく、一人ひとりの感染対策が重要です

いわき医師会会長 木村守和

はじめに

5月8日に新型コロナウイルス感染症が5類扱いになり、関心が薄れてきています。しかし6～7月に定点医療機関の報告数が増加し、第9波の入り口といえる状況です。いわきの夏は、関東圏をはじめ全国から人が集まり、感染が広がりやすくなります。感染対策をおろそかにすると昨年夏のような大きな波となる恐れがあり、医療機関は逼迫状況となり、通常の医療にも影響が出る可能性があります。

1 感染経路を意識して、基本的な感染対策を徹底しましょう

久しぶりに夏を満喫したいところですが、状況に応じた対応が必要です。ウイルスを持っている人から持っていない人に、飛沫やエアロゾルで感染します。戸外でのバーベキューでも、密接して会話すると感染しますのでご注意ください。換気・三密（密閉・密集・密接）の回避、マスクの正しい着用でリスクが低下します。

2 発熱・咳・咽頭痛などの症状が出た時の対応について

症状がある人は、他の人に感染させないように行動を制限してください。発症から約1日たないと抗原定性検査が陽性にならないことが多いため、午前中発症の場合は翌日午前に受診を考えましょう。

3 いわきの平日などの発熱外来体制について

必ず医療機関に電話をして、指示を受けてから受診してください。医療機関への感染持ち込みは避けたいので、駐車場で待機していただくことがあります。新型コロナ抗原検査等も、これまでどおり医療機関の外・車の中で行う場合もあります。

4 いわきの日曜・休日などの発熱外来体制について

8月11日（祝日）、13日・14日・15日・16日（お盆）に発熱外来体制をとっています。時間帯は、主に9時から13時までです。

この場合も、必ず医療機関に電話をして指示を受けてから受診して下さるようお願いいたします。

5 ワクチン接種の可能な人は、重症化予防に効果があるので、おわりに受けるようにしましょう。

感染の波を大きくしないためにも、波の起き始めを抑止する行動が重要です。住民の皆様には、一人ひとりの感染対策に引き続きご留意ください。

いわき市医師会・いわき市病院協議会は、いわきの住民の皆様のいのちと健康を守るため尽力して参ります。